

令和7年度「西海市高校・地域連携イキイキ活性化事業」

## 市内3高校生徒による話し合いの場「ゲッツ！SAIKAI」

西海市や市内高校の魅力化・活性化を目指す「高校・地域連携イキイキ活性化事業」では、大人目線でなく高校生の視点で、高校生自身が主体的に取り組んで行く事業をめざして、3校合同高校生チーム「ゲッツ！SAIKAI」が結成されました。

各高校の代表者が、高校や地域の現状と課題、将来に向けての展望を議論し、高校の魅力化や地域課題の解決に向けて実践する月1回を基本とした活動チームです。7月から始めた会議の様子をお伝えします。西海市のみなさま、高校生によるこれからの活動に応援よろしくお願ひします。

## 【第1回「ゲッツ！SAIKAI」】令和7年7月14日（月）

○西海市の魅力を情報発信する地域交流拠点施設カフェ「HOGET ホゲット」のご協力を得て、「誕生日チェーン」でアイスブレイクした10名の仲間は、まず西海市の現状と課題について意見交換しました。

・人口減少 ・少子高齢化 ・商業施設不足 ・交通の便 ・海のゴミ  
課題や生活の不便さは実感しているものの、みなふるさとの人や自然に対する愛情はしっかりと持ち合わせていました。

○その後、メンバーは西海市がこうなってほしいという願いを込めて、それぞれが考える「つくりたい未来」を発表し合い、自分たちや地域への希望を語りました。

- ・「バス停を観光場所に！」
- ・「西海市大好きプロジェクト」
- ・「地域協働型プログラム」
- ・「Baby hold」
- ・「西海 Flower road」
- ・「海キラリン」
- ・「西海市体験観光ツアー」
- ・「景色とバス停フォトコンテスト」
- ・「ハイハイハイスクール」
- ・「つんのーでしようで」



## 【第2回「ゲッツ！SAIKAI」】令和7年8月19日（火）

○前回同様「HOGET ホゲット」にて、夏休み中で終日開催にした今回は、午前中、「(株)長大」のファシリテーションにより、西海市総合計画に関するアンケート結果を基にグループワークを行いました。

○西海市の課題を感覚だけでなく、具体的データを用いてしっかりと把握したメンバーは、地元食材を使ったホゲットの特製カレーを昼食に、午後に備えました。

○午後からは、前回の意見交換と午前中の学習を踏まえて、みんなで具体的活動内容を検討しました。

- ①小中学生に向けたワークショップ
- ②観光ツアー、観光マップづくり
- ③バス停フォトコンテスト、バス停置きものづくり
- ④子育てしやすい環境づくり、室内で遊ぶ活動
- ⑤地元企業とのイベント
- ⑥3高校を知ってもらう動画配信
- ⑦市民の特技を生かしたワークショップ
- ⑧海+山ゴミ拾い、拾ったゴミで作品づくり

○様々な意見は出たものの、みなのおもいが強いせいか、なかなか具体的な取組まで絞り込むことができませんでした。そんな中でも西海市の課題の一つ「子育て支援」、自らの実践活動である「ボランティア」の方向性によって、次回再度話し合うことにしました。



### 【第3回「ゲッツ！SAIKAI」】令和7年9月18日（木）

○前回、「子育て支援」「ボランティア」という活動の方向性を確認するに止まっていたチームは、その方向性に沿って、年内に実現可能で、市民にとってインパクトのある取組に絞って議論しました。

- ①各高校の部活動ワークショップ、学校紹介PR動画作成
- ②大きいイベントでのボランティア活動、ぎゅぎゅっと！西海フェス参加
- ③高齢者へののこにこコール
- ④環境整備、海のごみ拾い
- ⑤子育て支援
- ⑥バス停フォトコンテスト

○これまでメンバーから出された意見や協議の中から、チームの目的達成にかなう取組に絞りました。それは、11月9日（日）に行われる「ぎゅぎゅっと！西海フェス2025」に参加して子育て支援やボランティア活動を行うこと。もう一つは、高校生の感性で西海市の風景を再発見する「バス停フォトコンテスト」の実施です。これから活動が本格化して行きます。



## 【第4回「ゲッツ！SAIKAI」】令和7年10月14日（火）

○第3回で、今年度の「ゲッツ！SAIKAI」のメインの取組として、①「ぎゅぎゅっと！西海フェス2025」へのボランティア参加、②「ゲッツ！SAIKAI バス停フォト・コンテスト」の実施が決まりました。

○今回は、まず、「ぎゅぎゅっと！西海」で行う具体的ボランティア活動として、①西海市保育会の「さいかい子育てフェスタ」での子育て支援ボランティア、②会場ボランティア（総合受付・休憩所清掃など）、③「ゲッツ！SAIKAI」活動PRについて、メンバーが3つに分かれて、すること・人数・時間・回数などの活動内容の検討を行い、自分たち一人ひとりの動きを確認しました。

○「ゲッツ！SAIKAI バス停フォト・コンテスト」については、①市役所の入力フォームで投稿できるよう事務局で準備すること。②選考については、第6回「ゲッツ！SAIKAI」（12月）で、各高校の選考会を行い、各高校から優秀賞3点を選出する。③その後、メンバー全員により、優秀賞9点の中から「高校生大賞」を選出する。また、2月に行われるコンソーシアムの会議で発表し、コンソーシアム委員全員による投票で優秀賞9点の中から「コンソーシアム大賞」を選出することを決定しました。④各校で募集チラシを作成し、たくさん応募してもらうための募集活動を行うことを確認しました。



## 【第5回「ゲッツ！SAIKAI」】令和7年11月5日（水）

- 今回は、まず「バス停フォト・コンテスト」の取組について、各校独自に募集チラシを作成し、全校配布をしましたが、等しく多くの投稿が得られるよう、“どのようにして応募を増やすか”“具体的にどのような方法が考えられるか”話し合い、“昼の放送で伝える”“集会の時依頼する”“学校独自に表彰し、賞品を贈呈する”など、アイデアを出し合いながら活動することを確認しました。
- 「ぎゅぎゅっと！西海フェス」のボランティア活動については、当初の計画を変更し、子育て支援メンバーを固定して、他のメンバーを総合受付と休憩所清掃に分ける3班体制で臨み、一定時間で交替することにしました。
- 今回、最も多くの時間を使ったのは、午前中のステージで行う「ゲッツ！SAIKAI」活動PRの発表内容を作成することでした。文案を分担し、苦心して作成したものを最後に併せて完成させました。
- 最後に、西彼農業高校メンバーに原案を考えてもらい、ホゲット（山崎マーク）にデザインしていただいたチームTシャツをお披露目していただきました。「ぎゅぎゅっと！西海フェス」を皮切りに、今後の活動で着用します。
- 「ぎゅぎゅっと！西海フェス」へのボランティア参加は、メンバー自身が“力と自信”をつける取組であり、「バス停フォト・コンテスト」は、市内の高校生が地域に目を向けることを促進しながら高校・地域の魅力化を図る取組として、今後行なっていく活動の基準や指針となるものになる、そう思える活動となるはずです。



## 【第6回「ゲッツ！SAIKAI」】令和7年12月22日（月）

- 第6回では、先月の「ぎゅぎゅっと！西海フェス」のボランティア参加について「感想と反省」を述べ合いました。「大勢の前で発表するときは、メモよりしっかり覚えて伝えることが大事。」(活動PR)、「子育ての大変さが分かった。／子どもに元気をもらった。」(子育て支援)、「最初は戸惑って、とても緊張した。／自分の仕事が大変で、周りを見ていなかった。／人との接し方が難しかった。」(受付・清掃)など、率直な思いを伝え合いました。
- みんなに共通することとして、“あいさつの大切さ”、“周りを見て少しでも相手のためになるようにする”、“待っているだけではダメ、自分から動く”など、しっかりと反省が挙げられました。
- 今回のボランティア参加を通じて、メンバーは確実に「力」と「自信」を身に着けました。今後の取組にもつながっていくものと思います。
- 2つ目は、「高校生バス停フォト・コンテスト」の選考会を行いました。メンバーが同じ基準で選考できるように選考基準を決め、真剣に、しかしシッカリ楽しみながら、時間をかけて選考して行きました。
- 選考の結果、《高校生大賞》①「ずっとあなたのそばにいるよ」(大崎高校・杏仁豆腐さん)《準大賞》②「いつものバスといつものバス停」(西彼農業高校・浦田賢一さん)《優秀賞》7作品を決定しました。優秀作品は、協議の上、高校や地域の魅力化のために利活用して行きます。



## 【第7回「ゲッツ！SAIKAI」】令和8年1月26日（月）

○新年を迎えて最初の回は、①「高校生バス停フォト・コンテスト」の感想と反省、②その優秀作品の活用方法の検討、③「西海市高校・地域連携イキキ活性化事業」の第2回コンソーシアム会議への活動報告と提言、この3つが協議事項でした。

①「高校生バス停フォト・コンテスト」の感想と反省として、「最後までよく頑張れたと思う。」「もっと自分から行動できていたら良かった。」「チラシの内容をもっと詳しく書く必要があった。」「選考結果が出た後の、これからの取組が大事。」など、それぞれの関わり方の中で感じたことを思い思いに語り、反省を共有しました。

②優秀作品の活用方法としては、○それぞれの高校内でポスターにして掲示する、○市役所や図書館など、市民が利用するところに掲示する、○バス停やバスの車内などに貼り、利用する人に見てもらう、○ポケットティッシュに入れて、店舗などで配布する、など様々なアイデアが出されました。

③第2回コンソーシアム会議への活動報告と提言は、西彼杵高校3年の代田君（そーじ）と濱本君（けいや）に代表して行ってもらうことにしました。両名は、高校生としての視点と感性で活動報告をした後、1年間の活動の中で感じ、考えたことを提言としてまとめ、発表します。そのための発表原稿を、メンバーの意見を取り入れながら、全員で書き上げて行きました。2月9日（月）の会議本番が、今から楽しみです。



## 【最終回「ゲッツ！SAIKAI」】令和8年2月26日（木）

○今年度最後の「ゲッツ！SAIKAI」は、①「西海市コンソーシアム会議」（2／9）での「そーじ」と「けいや」の発表報告、②メンバー全員の1年間の振り返り、③来年度の活動についての意見交換、そして、④修了式でした。

①高校の卒業とともにメンバーも卒業する「そーじ」と「けいや」。彼らだからこそコンソーシアム会議で地域を代表する方々に「ゲッツ！SAIKAI」の活動をしっかり伝え、立派に意見を述べることができました。

②メンバー全員の振り返りでは、「1つの目標に向かって1つになる素晴らしさを体験した。」「実際の活動が夢につながると感じた。」などの成果とともに、「地域を深く考える場になったけど、全部出しきれなくて悔しい。」「責任を持つことで、発言が怖くなった。」など、具体的に実践したからこそ得られる反省も聞くことができ、本当に充実した活動だったことを改めて実感しました。

③来年度の活動は来年度のメンバーで決定しますが、○「ゲッツ！SAIKAI」の知名度を上げる、○活動の幅を広げる、○市内の高校生を巻き込む、という3つの活動の方向性で臨むことを確認しました。

④最後は、初めての取組にも関わらず、しっかりと成果まで残してくれたメンバーの功績を称え、コンソーシアム事務局より修了証書が送られました。

○この1年でひとまわりたくましくなったメンバー全員が、来年度、ますます活躍してくれることを期待しました！

